



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2018年

5月 第90号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2017~2018年度主題

国際会長主題「国境なき友情」“Fellowship across the Borders”

アジア会長主題「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y's Movement”

東日本区理事主題「広げよう ワイズの仲間」

あずさ部部長主題「楽しもうよ 仲間とともに」

長野クラブ会長 「今できることをなんとかやってみよう」



仏句

実に人の生命は短く、100歳までに死す。たとえ、人は生きながらえても老いて亡くなる。

スッタニパータ 804

福島貴和 y's 選

5月 例会案内

日時 2018年5月16日(水)

6:30pm~8:30pm

会場 レストランやま 司会 福島Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 仏句 福島Y's
4. 会長あいさつ 会長
5. ゲスト紹介 会長
6. 東日本区大会、ロースターについて
7. ワイズディナー
自由トーク、
8. 報告
10. あずさ部の歌練習
11. 閉会点鐘 会長

絆の貯金

森本俊子

週刊誌の記事の中に、ある県の小さい村でとても信頼をえているという訪問医の言葉があった。むらの暮らしの中で生ずる問題、祭りだ、葬式だ、などと煩わしいように感ずる事柄も絆の貯金だと思ってみようというものだった。祭りや葬式は狭い地域であってみれば避けられないと思うが、そこまでいなくても、ちょっとしたことで人とふれあうことが必ず貯金になるというのだ。いつか使う時が来るからせっせと貯金しようという提案だった。

ところが最近、真逆とも思える考え方に会った。日本画家堀文子氏の「99歳、ひとりを生きる。けた外れの好奇心で」に書かれている。「群れない、慣れない、頼らない」ことこそ自分らしく生きるために必要なこと。親しき仲こそ、たがいの領域に立ち入らない、というものだ。人は日々のしくじりと悔恨を背負いながら二度と帰らぬ時の流れに身をゆだねて生きるのだ。修正のできぬ過去をきっぱりと捨て、何が起こるかわからぬ未知の明日を、心を空にして迎えたいと思う。「知る」欲求が絶えないから、人生に飽くことがない。自分が一番だと傲慢にさえならなければ常に得るものはある。

はたしてこの考えは真逆だろうか。

4月データ

在籍会員 15名
例会出席者 9名 例会出席率 53%
ビジター 2名

例会のご案内

毎月第3水曜日 (6月は20日)
18時30分から20時30分
ところ レストラン やま
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (森本会長)
f69a9n@bma.biglobe.ne.jp (小林書記)

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
監査	塩入 隆
ブリテン	小林美彦、堀内雅俊
担当主事	露木淳司

4月の例会報告

出席者 岩田幸雄、勝田いつ子、久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、玉木一成、福島貴和、堀内雅俊、森本俊子、
ビジター 大野貞次（あずさ部長）志波雅弘（和歌山紀の川クラブ）

勝田いつ子さんと、玉木一成さんの入会式を行いました。勝田さんはかねてから例会やイベントに顔を出してくださっていましたが、ワイズメンズクラブの在り方に賛同して入会を希望されました。

玉木さんは全国脊椎損傷者の会理事としての活動を卓話で紹介いただいた時からユニバーサルサポーターズの行事にも参加されたり、自身の会の事業に長野クラブを誘ってくださったりする中で入会を決意されました。丁さんが転勤により退会され、さみしくなったばかりですが、お二人の入会は嬉しいニュースです。あずさ部から大野部長がわざわざお祝いに駆けつけてくださいました。感謝です。

ワイズディナーをいただき、福島ワイズの南米旅行記をスライドで見ながら伺いました。チリ、ペルー、ボリビア、ブラジルと広域を回る旅でした。飛行機から見たナスカの地上絵の数々、イグアスの滝、マチュピチュの街並み、ボリビアの首都ラパスの標高4100Mにある駅、ブラジルのサンバカーニバルなどどれをとっても有名観光地となっている場所ですが、実際に目にした物は予備知識をはるかに超えた強い印象の旅だったそうです。世界各地を訪れたことのある福島ワイズにとっても南米は初めてだったので、スライドを見ながら一緒に旅をしているような気分になったものです。

お話の中で特に強い印象だったのがサンバカーニバルの規模の大きさと山車や衣装などの美しさでした。色彩や肌の露出度がイメージしていたものとは大きく違い、一つの山車に5000人ももの随行者がいるものもあったのにはびっくりしたとのことでした。最終のグループの後ろには清掃隊が随行していて、それもショーの一環になっていたと感心していました。そういえば新幹線の清掃係がまるでショーのように短時間に手際よく清掃をこなしているなあとあとになって思ったことです。浅草のサンバカーニバルだって終わると同時に清掃も終わり後はなにものなかったかのように車の行き交う道路になっていたのを思い出しました。諏訪湖の花火大会も、私の地域の神社のお祭りも次の朝早くお掃除してくれるボランティアがいるのだということを改めて思いました。

卓話の後、東日本区大会に参加できる人を募ったり、ロースターの原稿チェックをしたりしました。



YMCAだより

新年度が始まりました。YMCAのそれぞれの事業にも新入生が加わり、今まさに新しい風が吹き始めています。特に 70 周年記念事業として立ち上げた発達障がい児支援のための「放課後等児童デイサービス・きらきら教室」はようやく軌道に乗り始め、おかげさまで競争の激しいこの事業を短期間で軌道に乗せることができました。現在、毎日定員に近い 13, 4 名の児童が利用しています。それには、一人ひとりのケースに合わせた療育プログラムが可能な人材を確保できたこと、学習室、プレイルーム、体育館など施設環境に恵まれたこと、プライムタイムという健常児の学童保育と交流できること、習い事や野外活動に参加できること、など他の競合事業所にはない特典を備えることができたことが要因としてあげられます。今後、この子供たちが成長し大人になっていくのに合わせて、事業範囲を拡大し、また、甲府市外のエリアに住む子供たちの保護者の要望にもお答えして、活動の拠点を増やしていけたらと願っています。そのための一番の課題は人材の確保です。今後とも関係各位の皆様からご指導ご鞭撻を仰ぎ、さらなる充実した事業運営を目指します。

今年はまだ一つロボット教室という新規事業に挑戦しています。毎回異なるレゴブロックのような組み立て式のロボットを作り上げ、その仕組みから創造力や科学の知識を身に付けていきます。特に男の子に人気のプログラムです。今じわじわと参加者の輪が広がりつつあります。

いよいよ会館建設を 2 年後に控え、将来計画検討委員会の動きも最後の詰めに入ってきました。事業部会では英語学校と国際事業の再建と保育所の立ち上げについて、総務財務部会では管理システムの再構築と様々な補助金、助成金の獲得方法について、そして建築部会では地域に根ざし世界を見つめる YMCA に相応しい、未来永劫存続する施設の設計が課題となっています。是非皆さんも積極的にこの協議に加わっていただき、一緒に新しい YMCA をつくろうではありませんか。

5 月には定期総会を開催いたします。新たに 75 周年記念新会館建設募金活動のスタートについて皆様にお計らいします。ワイズメンの皆様にはぜひともご出席いただき、お支えくださいますようよろしくお願い申し上げます。

これからの予定

5 月 12 日 富士山評議会、富士五湖クラブ
15 周年祝会
6 月例会第 3 水曜日 20 日 レストランやま
6 月 2, 3 日 東日本区大会
静岡県総合コンベンションホール (沼津)

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。
今年度前期会費 (7 月～12 月) 18000 円のお振り込みをお願いします。(1 年分は 36000 円です)
八十二銀行 昭和通営業部番号 214)
普通預金 口座番号 871118
長野ワイズメンズクラブ会計
倉石美津子